

よりよい教育環境に向けて

これからの未来を生きる子どもたちにとって、よりよい教育環境とはどんな環境であるのか。一貫教育審議会をはじめ、学校園の教職員にも意見をいただきながら協議を進めています。

〈第3回田尻町一貫教育審議会〉

2月6日（木）に第3回一貫教育審議会を開催し、諮問事項「こども園と小中学校の施設を一体化することの是非」について、答申内容の審議を行いました。0歳から15歳までの子どもたちの発達を見通し、成長をつないでいくためのよりよい教育環境についてご意見をいただきました。

次回3月24日（月）に答申をいただく予定です。



〈課題整理について〉

こども園、小学校、中学校を一体化することの不安面について、よく聞かれる意見を整理してみたいと思います。今回は、その中のひとつ「音」と「安全面」についてです。0歳から15歳という幅広い年齢層だからこそ生まれる生活時間の違いや体力差による不安です。

音については、窓ガラスやサッシ等で防音性能を高めることができますし、上下階では子どもの泣き声といった高い声の影響は小さいという実際の意見も報告されています。

小・中学校で長年課題になっていた校庭の狭さについても、校舎の配置の仕方によって解消できるため、今よりも更に狭くなるというわけではありません。また、園庭と校庭はエリアを分けることで、思い切り体を動かす場所も確保できます。

現在は少子化・核家族化のため、多様な世代の人と関わる経験が少なくなっています。学年の横のつながりはあっても、幅広い縦のつながりはみなさんのまわりでもなかなかないのではないのでしょうか。小さい子にはやさしくする、大きい子への憧れの気持ちをもつなど、以前は家庭や地域で自然と育まれていた力を、今後は学校園で育む必要性がさらに増していくことでしょう。

いっしょに生活するからこそ、「小さい子が寝ているから静かにしよう」「お兄ちゃんがテストをしているから静かにしよう」など気遣いの心が育まれていきます。幅広い年齢層でいっしょに生活するからこそ、思いやりや社会性などいわゆる非認知能力が育まれることが期待でき、それが将来社会に出た時にたくましく生き抜く力となっていきます。

社会変化の激しい時代を生きる子どもたちにとって、多様な考え方に触れ、協働する中で、豊かな人間性や社会性の向上が今まで以上に求められています。課題は必ずしもマイナスではなく、工夫次第でプラスにも成り得ると考えます。今後いろいろな視点から検討を進めていきます。

こども園・小学校・中学校のホームページがリニューアルされました！



こちらのQRコードからご覧ください。
NEW ホームページ➡

